

会社概要

【スポーツ・玩具】

つるや株式会社



社員数 600名

住所 大阪府大阪市中央区本町3-3-5

資本金 5,000万円

URL <https://www.tsuruyagolf.co.jp>

雇用状況

外国人採用を始めた時期 2008年

外国人社員の人数 14名

外国人社員の国籍 カザフスタン、中国、ネパール、ベトナム、ロシア

主な職務内容 販売業務、通訳、ゴルフクラブのフィッティング業務

MEET IN OSAKA 活用内容

◎ 活用したこと

- ・ 対面合同企業説明会（国内）
- ・ オンライン人材マッチングシステム

◎ 工夫した点、良かった点など

- ・ 対面形式の合同企業説明会を通じて、多くの外国人留学生と対面で関わる機会を得ることができ、自社の求める語学力や接客の適性を備えた人材と出会うことができた。
- ・ その場で面接まで進める運用としたことで、選考をスムーズに進めることができ、質の高い外国人材の採用につなげることができた。
- ・ 優秀な外国人留学生が多数参加しているため、効率的に採用活動を実現できた。

働く外国人材にインタビュー！

答えてくれた方：ヴドヴィチェワ エヴゲニヤさん

出身国：ロシア 入社時期：2025年11月1日



店舗から海外業務へ—語学力を活かした次のステージへの挑戦

Q：現在の仕事と入社を決めた理由を教えてください

A：現在は店舗での販売業務を中心に担当しています。ゴルフ用品の接客・販売に加えて、外国人のお客様への通訳や翻訳業務も行っています。例えば、英語で届く問い合わせメールへの対応や、日本語が通じないお客様が来店された際に同僚をサポートするなど、語学力を活かして業務を行うことが重要な役割の一つです。ロシア語・英語・日本語の3言語を使いながら、日本人スタッフと協力して、お客様が安心して買い物できる環境づくりを心がけています。入社を決めた理由は、すでに外国人スタッフが働いており、外国人に対する理解がある会社だと感じたことです。面接の際もとても丁寧に説明していただき、安心して働ける環境だと感じました。また、自分の語学力を活かせる仕事であることも大きな魅力でした。さらに、将来的には本社業務や海外関連業務に挑戦できるキャリアパスがあると聞き、自分の強みを活かしながら成長できる環境だと思い、入社を決めました。

Q：大阪を選んだ理由と、日本で働く魅力を教えてください

A：大学では日本語を専攻し、日本語や日本文化に強い興味を持っていました。日本語を勉強し始めたきっかけは日本のアニメで、言葉の響きに魅力を感じたことが始まりです。学ぶうちに日本への興味が深まり、「日本で働いてみたい」という気持ちが強くなりました。大阪は人がフレンドリーで温かく、生活しやすい街だと感じています。外国人にも優しく接してくれる雰囲気があり、安心して暮らすことができます。また、日本で働く魅力は、仕事に対する真面目さや責任感を大切にす文化にあると思います。努力を続ければきちんと評価してもらえる環境があり、自分自身の成長につながると感じています。

Q：仕事のやりがいや難しさを教えてください

A：やりがいは、自分の語学力を活かしてお客様の役に立てることです。言葉が通じずに困っていたお客様が安心して買い物をしてくださったときや、「ありがとう」と声をかけていただいたときは大きな達成感があります。また、日本人スタッフと連携しながら接客できることも、自分の存在価値を実感できる瞬間です。一方で、日本の職場文化や敬語の使い方など、まだ難しいと感じることもあります。ロシアでは思ったことを率直に伝える文化がありますが、日本では言い方や配慮がとても大切です。文化の違いを理解しながら、自分自身も成長していく必要があると感じています。

Q：長く活躍するために大切と思うことを教えてください

A：日本で長く働くためには、日本の社会や職場文化を理解し、尊重することが大切だと思います。上下関係や働き方など、海外とは異なる点も多いですが、その違いを受け入れ、学ぶ姿勢が重要だと感じています。また、日本語力を磨き続けることはもちろん、外国人のお客様対応では英語が役立つ場面も多く、英語などの他の言語の語学力も強みになります。そして何より、あきらめずに努力を続けることが大切だと思います。

Q：日本・大阪での就職を希望している外国人材の皆さんにメッセージをお願いします

A：日本で働くことは簡単ではありませんが、とても良い経験になります。就職活動では不安になることもありますが、あきらめずに挑戦を続けてほしいと思います。まずは日本語をしっかりと勉強し、自分の強みを磨くことが大切です。新しい環境で挑戦することは勇気がいりますが、その分大きく成長できます。日本で働きたいという気持ちがあるなら、自分を信じてチャレンジしてください。

Q：最後に、企業の皆様にも一言お願いします

A：外国人の社員を特別な存在としてではなく、一人の社員として見ていただくと、とても働きやすくなります。私たちは語学という強みを持っていますが、それだけでなく、一人の人材として成長したいという思いがあります。文化の違いはありますが、お互いに理解し合おうとする姿勢があれば、より良いチームになると思います。外国人の強みを活かせる環境を整えていただければ、きっと大きな力を発揮できると思います。



ココがポイント

人事のプロが見た「外国人採用で工夫していること」

採用	活躍（能力発揮・成長支援）	定着（キャリア形成・組織への定着）
<p>現場目線で見極める</p> <ul style="list-style-type: none"> MEET IN OSAKAの対面合同企業説明会に担当者自ら参加し、学生と直接対話することを重視している。 語学力の高さだけでなく、接客業への適性、日本で長く働きたいという意思、周囲と協力できる姿勢まで現場の観点で丁寧に確認している。 その場で面接へ進める運用を取り入れ、スピード感を持ちながらも人物重視の選考を実施している。 	<p>語学力を現場で活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売業務を基本としながら、外国人のお客様対応や問い合わせメールへの翻訳など、語学力を活かせる場面を積極的に任せている。 通訳業務を「補助的役割」にとどめず、店舗サービス向上の重要な機能として位置づけている。 語学対応を通じて成功体験を積みませることで、自信と責任感を育てている。 	<p>入社前後の不安を丁寧に解消する</p> <ul style="list-style-type: none"> 内定後は定期的な面談やオンラインでのフォローを行い、入社前の不安や疑問を解消できる機会を設けている。 在留資格の手続きは会社で対応し、必要書類の確認や申請準備をサポートすることで、安心して入社日を迎えられる体制を整えている。 遠方からの入社者に対しても、生活面や様々な手続き等をサポートし、業務以外の不安をできる限り軽減している。 仕事の前段階として、まず「安心して働き始められる環境」を整えることが、定着の第一歩であると考えている。
<p>将来のキャリア像を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗での販売業務だけでなく、本社業務や海外関連業務へのキャリアパスも含めて説明し、入社後の成長イメージを具体的に伝えている。 外国人社員を通訳などの業務にとどめず、将来的に役職や専門業務を担う人材として向き合っている。 入社後の活躍を見据えた対話を行うことで、短期的な就職ではなく、長期的に働く意思を持つ人材の採用につなげている。 	<p>段階的に成長機会を与える</p> <ul style="list-style-type: none"> 入社後は本店での勤務を通じて業務に慣れてもらい、複数の外国人社員がいる環境で安心して仕事をスタートできる体制を整えている。 販売、通訳、専門業務（フィッティング等）と担当する業務を広げながら、段階的に経験を積みませている。 将来的には副店長などの役職や、本社・海外関連業務へのキャリアパスも提示することで、将来の選択肢を広げている。 	<p>組織の一員として成長できる環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人社員も日本人社員と同様に、リーダー・店長・ブロック長などの昇格時に行う階層別研修や定期的なミーティングに参加し、組織の方向性や役割を共有している。 キャリア相談の機会を設け、一人ひとりの将来像や目標を確認しながら、長期的な成長を支援している。 文化や価値観の違いを前提としつつも、「同じ社員として期待している」というメッセージを明確に伝えている。 外国人社員を特別扱いせず、対等な存在として責任と機会を与えることで、組織への帰属意識と定着意欲を高めている。

経営者・人事インタビュー

答えてくれた方：管理本部 総務人事課 主任 佐橋さん

特別扱いしない、多様性を活かす組織文化

Q：外国人採用で大切にしていることを教えてください

A：当社では、外国人採用を単なる人手不足の解決策とは考えていません。海外出店をきっかけに採用を開始し、近年はインバウンド需要の拡大により、その重要性はさらに高まっています。語学力や国際感覚を持つ人材は、店舗サービスの質を高め、事業成長に直結する戦力だと考えています。そのため、採用においては語学力だけで判断するのではなく、「日本でどのように成長したいのか」「将来どのようなキャリアを描いているのか」といった本人の意欲や将来像を重視しています。また、入社後も安心して働ける環境づくりを意識し、店舗全体で支え合える体制を整えています。文化や価値観の違いは確かにありますが、それを課題ではなく組織に新しい視点をもたらす強みとして受け止めることが大切だと感じています。外国人社員の存在は、日本人社員にとっても良い刺激となり、組織全体の意識向上にもつながっています。

Q：外国人採用をしている・これからしようとする企業にメッセージをお願いします

A：外国人材の採用については、最初は不安を感じる企業も多いかもしれませんが。しかし実際に受け入れてみると、新しい視点や発想が加わり、組織に良い変化が生まれることを実感しています。重要なのは、外国人社員を特別扱いせず、一人の社員として向き合うことだと思います。そのうえで、文化的背景の違いを理解しようとする姿勢を持つことが大切です。お互いを尊重し合える環境があれば、外国人社員は大きな力を発揮します。



佐橋さん

また、MEET IN OSAKAのような支援事業を活用することで、優秀な外国人学生と直接出会う機会を得ることができます。まずは接点を持ち、対話を重ねることが第一歩になるのではないのでしょうか。多様な人材を受け入れることは、企業の可能性を広げる大きなチャンスになると考えています。